

いま注目！ 共産党の提案を紹介します

戦争法廃止の政府

国民のたたかいをさらに発展させ 安倍政権をうちたおそう

「戦闘地域」での兵たん、治安活動、米軍防護の武器使用、集団的自衛権——海外での武力行使に道をひらく戦争法を、一刻たりとも放置するわけにはいきません。

安倍政権を打倒し、日本の政治に立憲主義と民主主義をとりもどしましょう。

「廃止」の政党、団体、個人が共同し 国民連合政府をつくろう

日本共産党は、戦争法廃止の一点で一致するすべての政党、団体、個人が力をあわせて「国民連合政府」をつくることをよびかけます。政策・立場のちがいを互いに留保・凍結し、大同団結しようという提案です。

作家・僧侶 瀬戸内寂聴さん

「共産党のよびかけは、たいへん結構です。しっかり願います。野党がまとまって力を強くしないとダメですね。…お互いに虚心坦懐（たんかい）に力を合わせてほしい」（「しんぶん赤旗」日曜版9月27日付）

慶応大学名誉教授・弁護士 小林節さん「日本共産党の呼びかけには

提案に共感広がる

『わが意を得たり』という思いです」「私もできることをやっていきたいとします」（同）

ジャーナリスト 鳥越俊太郎さん「野党にはそれぞれ立場の違う問題もあるが、それらを乗り越えて、安倍政権打倒の一点で一致して選挙をたたかってほしい」（「しんぶん赤旗」3日付）

「最後は政権を変えるしかない」

長谷部恭男

早大法学
学院教授



「今回の安保法制を廃止する法案を提出して成立させるだけでは駄目で、集団的自衛権行使を容認した閣議決定を『間違っていた』と、元に戻してもらわないといけない」（東京）9月18日付）

つぎの国政選挙で 野党の選挙協力をおこなおう

日本共産党は、「戦争法廃止の国民連合政府」で一致するすべての野党と選挙協力をおこなうために誠実に力をつくします。昨年の総選挙の沖縄1～4区では、「基地建設反対」の一点で選

挙協力しました。

立憲主義・民主主義・平和主義をつらぬく新しい政治をご一緒に実現しましょう。



▲会談する志位和夫委員長（左）と岡田克也民主代表 9月25日、国会内

日本共産党の志位和夫委員長は「戦争法廃止の政府」に向けての選挙協力で民主、社民、生活の各党党首と個別に会談しました。

民主・岡田克也代表とは「今後も引き続き話し合っていく」こ

野党・党首
会談始まる

とで一致。社民・吉田忠智党首は「前向きに受け止めて、しっかり議論を進めていきたい」、生活・小沢一郎代表は「野党共闘に大きな弾み。決断を高く評価している」などとのべています。

世論調査

38%「選挙協力を」

共産党の選挙協力提案への注目ぶりがメディアの世論調査で示されています。

「毎日」（9日付）では、「来年夏の参院選に向けて、共産党は他の野党に選挙協力を呼びかけています。あなたは共産党を含む野党が選挙協力をすべき

だと思いませんか」と質問。「協力すべき」は38%と4割近くに。「必要はない」は44%でした。

「読売」（9日付）では、野党が「選挙協力する方がよい」は41%でした（「そうは思わない」43%）。